

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

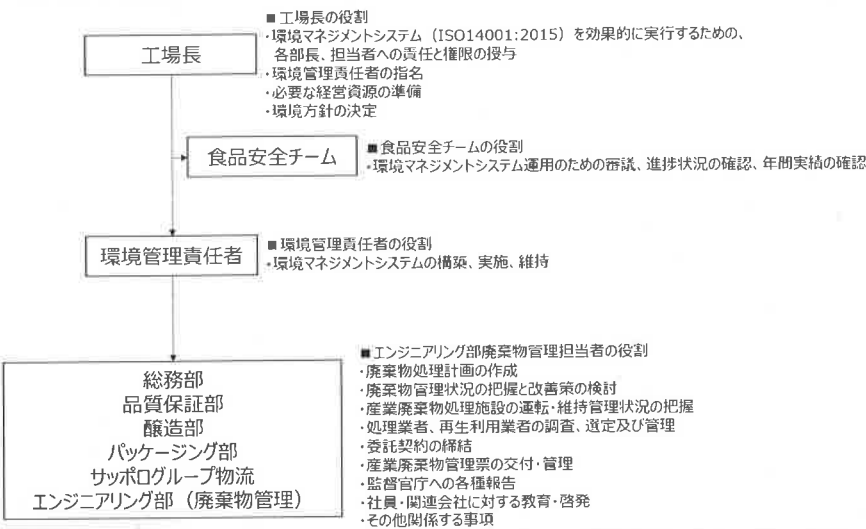
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 29日	
都道府県知事 佐藤 樹一郎 殿	
<div>提出者 住 所 〒877-0054 大分県日田市大字高瀬6979 氏 名 サッポロビール株式会社九州日田工場 工場長 神山 剛 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0973-25-1111</div> <div>産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</div>	
事業場の名称	サッポロビール株式会社 九州日田工場
事業場の所在地	大分県日田市大字高瀬6979
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	飲料・たばこ・飼料製造業－酒類製造業－ビール製造業 [1022]
②事業の規模	製品出荷額 7,946百万円
③従業員数	2024年3月末現在 約100名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div><div>発生源</div><div>廃棄物</div><div>処理</div></div> <div><div>製造工程</div><div>廃棄プラスチック</div><div>木くず</div><div>廃水処理工程</div><div>汚泥</div><div>汚泥脱水設備</div><div>脱水汚泥</div></div> <div><div>セメント助燃材 セメント原料化等</div><div>燃料 再商品</div><div>肥料化</div></div> <div>委託処理</div>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥 グリストラップ	汚泥・金属くず
	排出量	16.59 t	0.33 t	2.58 t	16136 t 2.42 t	0.0218 t
	(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類：シュリンクフィルム・ストレッチフィルムその他、ホポリ容器、ビールホース等のマテリアルリサイクル推進を継続 汚泥：嫌気性廃水処理設備による汚泥発生量の削減					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥 グリストラップ	汚泥・金属くず
	排出量	15 t	1 t	5 t	15277 t 2.2 t	0.02 t
	(今後実施する予定の取組) 廃プラスチック類：シュリンクフィルム・ストレッチフィルムその他、ポリ容器、ビールホース等のマテリアルリサイクル推進を継続、PPバンドの有価物への変更を計画 汚泥：嫌気性廃水処理設備による汚泥発生量の削減					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の種類：汚泥、廃プラスチック類、ガラスくず、木くず、動植物性残さ 分別に関する取組：工場内の各廃棄物発生場所での分別徹底、処理区分別に収集する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の種類：汚泥、廃プラスチック類、ガラスくず、木くず、金属くず 分別に関する取組：工場内の各廃棄物発生場所での分別徹底、処理区

	分別に収集する、廃棄物・有価物の引き取り前に最終の仕分け再確認を行う
--	------------------------------------

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	14300 t	t
	(これまでに実施した取組) 当工場内の汚泥脱水施設で中間処理を実施。 処理方法：ベルトプレス方式（含水率65～75%）、処理能力：170t/日		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	13539 t	t

	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>当工場内の汚泥脱水施設で中間処理を実施。</p> <p>処理方法：ベルトプレス方式（含水率65～75%）、処理能力：170t/日</p>
--	--

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
① 現状	【前年度（2023年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥 グリストラップ	汚泥・金属くず
	全処理委託量	16.59 t	0.33 t	2.58 t	1836 t 2.42 t	0.02 t
	優良認定処理業者への処理委託量	16.59 t	0.33 t	2.58 t	95.49 t 0 t	0.02 t
	再生利用業者への処理委託量	16.59 t	0.33 t	2.58 t	1836 t 2.42 t	0.02 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>処理業者と委託契約を締結するにあたっての事前の現地確認（処理状況、維持管理状況等）と、委託後の定期的な確認。 マニフェストの管理を徹底する。</p>
--	--

(第5面)

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥 グリストラップ	汚泥・金属くず
	全処理委託量	17 t	1 t	3 t	1739 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	16 t	1 t	3 t	115 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	17 t	1 t	3 t	1739 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>処理業者と委託契約を締結するにあたっての事前の現地確認（処理状況、維持管理状況等）と、委託後の定期的な確認。 マニフェストの管理を徹底する。</p>					
※事務処理欄						